

第27回 始皇帝の中国統一

1 秦による中国の統一

- ・戦国の七雄である（ ）は、富国強兵策で次第に強力になっていった。
→（ ）年、秦王（ ）は中国を初めて統一して、皇帝を称した。
※最初の皇帝であるので、（ ）と呼ばれている。



始皇帝

☆秦（前8世紀～前206年）

都…（ ） ※現在の西安の対岸

◆始皇帝（在位 前221～前210年）

- ・領地を諸侯に分け与える封建制をやめ、全ての領地を皇帝のものとした。
→全国を36（後に48）の郡に分けて、中央から官吏を派遣して統治した。
※これを（ ）という。

- ・南方では、江南からベトナムまでを征服し、（ ）など3郡を置いた。
- ・北方では、將軍の蒙恬に命じて北西のオルドス地方の匈奴を攻撃させた。
- ・また遊牧騎馬民族である（ ）の侵入に備えて、戦国時代に趙や燕が築いた長城を修復してつなげ、（ ）を建設した。



万里の長城(秦代)



万里の長城(明代)

始皇帝が万里の長城を建設したわけではない。また秦代の長城は、明代のものに比べて低く作られており、城壁という感じではなかった。

2 秦の統一政策とその失敗

- ・始皇帝は、中国の統一にともなっているいろいろなものを統一しようとした。
→統一貨幣の（ ）を発行し、度量衡・文字・車軌なども統一した。
→また思想の統一のため、丞相の李斯の提案で（ ）を行った。

- ・また始皇帝は、阿房宮などの宮殿や、自身の巨大な墓を建設した（始皇帝陵）。
※始皇帝の墓の近くでは、陶製の7000体もの（ ）が発見されている。
→しかしこのような急激な中央集権体制、厳しい法律による統治、大規模な土木工事は、民衆の生活を非常に苦しめた。
→前210年に始皇帝が死ぬと、秦の厳しい統治に耐えられなくなった農民が、翌年に（ ）を起した。



始皇帝陵

司馬遷の『史記』によれば、この山の中に始皇帝の地下宮殿があるらしい。現在調査中だが、早く発掘して欲しい。



兵馬俑

ひとりひとり表情が異なっているというのがすごい。当時の武具などを伺いしれる貴重な資料である。もちろん世界遺産。



陳勝・呉広の乱

この反乱は、中国史上初の農民反乱と言われる。「王侯将相いずくんぞ種あらんや！」は超有名な言葉。

3 前漢の成立

- ・陳勝・呉広の乱によって各地で反乱が起こり、秦はあっさり滅亡した。
→秦が滅んだ後、楚の名門貴族出身の（ ）と、元農民で下級役人だった（ ）が、中国統一をかけて争った。
→前 202 年、劉邦は垓下の戦いで項羽を破り、漢（前漢）を建国した。



劉邦

酒好き、女好きでどうしようもない男。
ニートから皇帝になった唯一の人物。

☆（ ）（前 202～後 8 年）

都…（ ） ※現在の西安

◆（ ）（在位 前 202 年～前 195 年）

- ・劉邦は、本心では郡県制をとりたかったが、秦の失敗を教訓として急激な中央集権化を避けた。
→中央から遠い場所は（ ）、中央に近い場所は（ ）
と、2つの制度を組み合わせた支配体制を採用した。
※この支配体制を（ ）という。
- ・また郷・亭・里の単位で、農村を組織化したという説がある。

- ・中国を統一した劉邦は、前 200 年に、北方の遊牧騎馬民族である（ ）を攻めたが、（ ）と戦って大敗した。
→匈奴に対してはしばらく何もできなかった。



映画『霸王別姫』

項羽が垓下で追い詰められたとき、虞美人という愛人も一緒にいた。この場面は「霸王別姫」と呼ばれ、京劇の名場面のひとつである。



冒頓単于

匈奴は文字を持たない民族であったので、詳しい歴史に関してはわからないことが多い。トルコ系かモンゴル系とされている。

◆（ ）（在位 前 157～前 141 年）

- ・景帝は、国内が安定してきたことを背景にして、中央集権化を進めるため諸侯の領地を取り上げ始めた。
→前 154 年、つぶされるのを恐れた諸侯 7 人が、連合して反乱を起こした。
※この反乱を（ ）という。
→この乱の鎮圧後、皇帝の権力が強化されて中央集権体制が確立された。